



まごころ児童デイ



映画「ありがとう」上映会で

児童デイの送迎課題をアピール 一宮市にも支援要請

家族に代わって児童デイサービスの事業所の車が学校へ迎えに行き、「学校から施設」への移動の支援を、一宮市独自のサービスとして認めていただくようお願いします。
上映実行委員会



お願い文書を提出する
実行委員

当会も開催協力したドキュメンタリー映画「ありがとう」の上映会が2月17日(土) 275名と多くの参加を得て行われました。

ハンディを持つ児童にとって児童デイサービスは大切な社会的自立の場所です。当日、上映実行委員会では自立をテーマにしたこの上映会を機に、「児童デイサービスへの課題」について、見出しのアピールを会場の皆さんに行いました。

制度上では出来ない、「学校から施設」への車移動。しかし、この移動手段がない為に、児童デイサービス利用を阻んでいる現状の説明がされました。

さらに2月20日(火)には、一宮市にもアピールを反映させた市長宛文書を実行委員5名が一宮市障害福祉課長に提出しました。

当会の代表も上映実行委員として同行しました。

既に2007年度新予算案が発表され、新年度にはこの送迎課題は入っていません。粘り強く、児童デイサービスがより生きたサービスになるように要請していかなければなりません。

一宮市新規事業(案)に、就学前の児童を対象に、児童デイサービス利用本人負担分を償還払いにしていますことは先ずは朗報です。

報告

2月の会報で報告させていただきました午前の児童デイについて、ご家族に中止の説明会をさせていただいた折に、以下のようなご意見や要望がありました。

- 午前に出掛かる時に留守番させるのは不安である。
- 夏休みに児童デイで市民プールに一緒に行ったことは、大変意味があった。
- 他の子ども達とふれあい広場で出来ることを伸ばしてあげたい。
- 夏休みなどの長期休みには家族だけの関わりとなり、友達と集える機会がなくなる。
- 夏休みに子どもと一緒にまごころふれあい広場に出掛けて他のお母さんと情報交換したい。

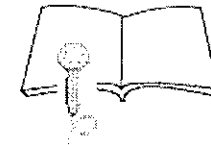
まごころふれあい広場をご利用下さい 月曜午前

4月より月曜日の10時~12時の間、まごころふれあい広場をお母さんやお子さんを含めた地域の皆様に利用していただきたいと思います。親子のふれあいやお母さんたちの交流の場としてどうぞご利用下さい。但し、まごころの休日と行事がある場合は休ませていただきます。

利用料はお一人1回100円です。

お問い合わせ 電話 (0586-73-8707) 又はF a x (0586-73-8870)でどうぞ。

ミニデイだよ



こころで歌う

「マイクがまわって来たよ。」「何歌うの。忘れたわ。」「いつもの歌ってよ。」「なにを？」
そんな会話が続けていると思っていると、♪青闇せまれば、なやみは果てなし・・・
みだるるおもいに・・・♪とフランク永井の「君恋し」を歌いはじめた90歳のIさん。忘れた忘れたと言いつつもマイクを握ると高い美しい声で、朗々と歌われました。昔、手仕事をしている時、いつもラジオをかけておられていて、自然に覚えられとの事でした。

同い年のFさんは「美しい天然」を。サーカスの歌よねと若いスタッフはこんなに歌詞がきれいだと知らずに感激。SさんTさんは一緒に「ここに幸あり」。長い人生いろんなことがあったと仲良く歌われました。

歌はそれぞれの人生と重ねあわされて、素晴らしいものがあります。Oさんは、「からたち日記」の歌の間のせりふを感情こめて朗読されると拍手喝采。

Wさんが、以前ミニデイでいち早く紹介して下さった「千の風になって」が世間で大流行。利用者さんは、「前から知ってるよ」と得意顔。「千の風になって母に会いたいわ」とKさん。

すてきな詩を読み、美しい曲を皆さんで合唱。~~ともに生きる暮らしをめざして~~住み慣れた地域で暮したい。会の趣旨とともにミニデイの皆さんと歌っています。

- 新井満詞「この街で」
- ♪♪1. この街で生まれ この街で育ち
この街で出会いました
あなたとこの街で
 - 4. この街でいつか おばあちゃん
になりたい おじいちゃんになった
あなたと歩いてゆきたい
 - 5. あの雲を追いかけ 夢を追いかけて
よろこび かなしも
あなたとこの街で ♪♪♪

原稿募集

あなたの「心に残る思い出」をお待ちしています。介護をされて嬉しかったこと、介護をして感謝されたこと、など何でも結構です。400字程度にまとめてお寄せ下さい。

心づれづれ



支えられて

とても元気だった姑が手術を受け2年余り、何度かの入院生活では、長期の付き添いもありました。

昼夜の介護で眠られず、食事もままならず、入浴も大急ぎで週一回の生活が続きました。

主人は会社帰りに寄ってくれましたが、病院が遠い為、子ども達に会えず、疲れ落ち込んでいた時、受験生だった娘が作ってくれたお弁当が届きました。嬉しくて、美味しくて、涙ポロポロしながら食べました。

姑はおやつが大好きな人でした。特に柿とアイスクリーム。3日間の昏睡から目覚めた時「柿があったろう」半分ぺろり！それから3日後の夜中「アイスクリームが食べたい」走って買って来たアイスクリームを、何だか大急ぎで食べ「これで得心した」と言ってスーと逝ってしまいました。

家族に支えられ、姑本人が一番苦しい中、時々言ってくれた「ありがとうな」の言葉に、支えられての介護でした。

(賛助会員 松本フミエ)
題字/澤田清敏さん

第5回 福祉人材フォーラムのお知らせ

地域福祉をいかに実現するか?をテーマに下記の要領で開催されます。

- 日時 平成19年3月24日(土)9:45~17:10
- 場所 東別院会館(052-331-9576)
地下鉄名城線「東別院」4番出口
- 参加費 あいち福祉ネット会員 1,000円
非会員 1,500円(当日入会可)
- 主催 (特)あいち福祉ネット
(特)市民福祉団体全国協議会
- 講話 「地域福祉の現状と課題」市民福祉
団体全国協議会 専務理事 田中尚輝氏
フォーラム

- ・「認知症についての理解を深める」
講師：医療法人さわらび会福祉村
病院 副院長伊川弘之先生
- ・「障害者自立支援法~私たちはどう対応するか」
- ・「サービス提供責任者の悩みの解決」
- ・「これから始める人のために」